

「地図豆」の地図を広げて街歩き

その 22-1 甲州街道の小道をたどって、笹子峠を越える (距離約 14.0km)



地形図を作成している国土地理院とその前身である陸地測量部は、明治 16 年以降、全国の国道（国道番号が二桁以下の旧 1 級国道）沿いに 2km 間隔で、正確な高さを求めた水準点を設置し、大正 2 年に最初の全国測量を終了している。

従って、地図の上に連続的に水準点の記号があれば、そこはかつての国道であり、昔の甲州街道も、おおよそこの付近を通過していたと予想できる。笹子峠周辺の地図を読んで、今は使われていない水準点を横に見ながら、旧街道の道筋をたどってみる。

【道順】

00 笹子駅→01 等水準点 No. 100 など→02 笠懸地蔵→03 普明禅院一里塚→04 笹子峠道入口→05 笹子峠道 1→06 笹子峠道 2→07 一等水準点 No. 99 と明治天皇御野立所跡→08 矢立の杉→09 笹子トンネル入り口へ→10 笹子峠→11 笹子峠道分岐→12 一等水準点 No. 98→13 明治天皇の小休所跡と駒飼宿→14 甲斐大和駅

【街歩き解説】

00 笹子駅：標高 600m ほどの無人駅 JR 笹子駅から笹子峠道歩きをスタートする。

01 一等水準点 No. 100 など：手始めに、歩道上地下に埋められた一等水準点 No. 100 を見る。もちろん、これは現在の国道 20 号線にあるもの。すぐとなりに、キロポストに併設された金属標の道路水準点 20-10 もある。

02 笠懸地蔵：安政2年建立だという笠懸地蔵は、天保の大飢饉、それに続く農民一揆など、苦渋に満ちた諸業を善かれと地蔵に心願してきたものだろうという。重そうな笠を？頭にしている。さらに進んだ、街道脇には、馬頭観世音、庚申塔などが並んで建っている。

03 普明禅院一里塚：普明禅院門前に建つ一里塚碑を見て、街道らしき裏道を少し歩いて見る。寺の境内には、「行くたびに いどころ変わる かたつむり」の芭蕉句碑がある。

04 笹子峠道入口：川向うにしだれ桜が美しそうなお堂が見えた先で、「新田沢」という名前の川を渡り、新田集落入り口の庚申塔を左に見て、大きく右に折れて笹子峠道が始まる。

05 笹子峠道1：笹子峠道は、すぐに右手に川のせせらぎ音を聞く風情あふれる小道になる。堰堤などを見て、しばらく進むと車道と合流するから、その後少しの間、「矢立の杉」ののぼりが立つ車道を進む。



笹子峠道

06 笹子峠道2：すぐに、笹子峠自然遊歩道の案内板が見えてくるので、ここから再び、杉林の旧道を落ち葉を踏んで進む。



一等水準点 No. 99 ・ 一等水準点 No. 98

07 一等水準点 No. 99 と明治天皇御野立所跡：小道を谷に沿って進み、やや右へ折れてからしばらくすると、もう使われていない一等水準点 No. 99 がある。一等水準点のすぐ先に、明治十三年六月十九日に巡幸したという明治天皇御野立所跡がある。三軒茶屋跡でもある。

08 矢立の杉：ときおり、小川を渡りながら進むと「矢立の杉」に着く。その昔、武者が出陣にあたって、矢をこのスギにうちたたて武運を祈ったという。「矢立の杉」は幹の中は空洞になっている。



明治天皇御野立所跡・矢立の杉

09 笹子トンネル入り口へ：矢立の杉から先は、しばらく地形図にない道をたどる。木立の中を抜ける小道は美しい。この後笹子峠道最大の急傾斜、難所が現れるが、これも歩きなれたものなら心地よい程度だろう。そして、車道に取り付き、笹子トンネル入り口に到着。昭和十三年三月に完成したという笹子トンネルは、入口の洋風建築的な装飾が美しい。



笹子トンネル・笹子峠

- 10 笹子峠：トンネル手前右手、地形図にない道を数分登る。熊に注意の看板もあるがすぐに下るから安心である。笹子峠は標高 1096m、昭和 13 年に笹子トンネルが完成するまで多くの旅人が踏みしめた峠の向こうには、甲府の山々が見える。峠を少し下った右手に、赤い鳥居の天神宮がある。
- 11 笹子峠道分岐：一旦車道に出る。トンネルの反対側の造りをみてから、標識に沿ってすぐに分岐して、再び地形図にない道をたどることになる。木立を通り抜ける楽しい道になるが、この後やや不明になりがちなので注意が必要。渡河前にあるはずの一等水準点 No. 98-1 は、このときは発見できず。その後、某氏が発見し、掘り出したという。
- 12 一等水準点 No. 98：笹子峠道や甲州峠唄の看板をみてから車道へ出て、しばらくそのまま進む（本当は、「桃の木茶屋跡」の木柱がある付近から対岸に渡る峠道があるはずなのだが？）。一等水準点 No. 98 は、車道の笹子沢川に架かる天狗橋を渡ってから、右手の小道を少し上る。この道が笹子峠道なのだが、受け手側は不明だった。



駒飼宿

- 13 明治天皇の小休所跡と駒飼宿：駒飼宿入り口右側には、「秣負ふ、人を葉の 夏野哉」の芭蕉句碑がある。少し進むと、左手に明治天皇の小休所跡があつて、ここは本陣跡でもある。
- 駒飼宿には、かつて藤屋、塚本屋、柏屋、大黒屋と旧家が並んでいた。赤屋根の先、左に折れた先にある大きな松には、当時の趣が感じられ、その後大和町日影集落から見た紅葉の山々が疲れをいやす。今回の笹子峠道歩きは、もうすぐおしまい。

- 14 甲斐大和駅：標高 650m ほどの JR 甲斐大和駅へ到着終了。

ルートマップ



**** オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu ****